

指定管理者制度活用事業 評価シート(養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	恵楽園	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎聖風福祉会 ・代表者名 理事長 佐々木 元行 ・住所 川崎市川崎区池上新町3-1-8	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 140人) 在籍者数 111人(平成27年3月31日現在:入院不在者を含む)							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	延べ利用者数	103	103	103	101	101	102	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	延べ利用者数	103	105	108	110	109	111	
利用実績	②通所介護事業(通所定員 30人/日) 年間延べ利用者数 513人:定員に対する稼働率 %							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	延べ利用者数	37	37	38	42	42	44	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	延べ利用者数	46	47	44	44	45	47	
利用実績	④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成27年3月分)							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	
	管理者数	20	19	8	5	0	合計	
							52	
収支実績	①養護老人ホーム事業							
	(収入)				(支出)		(単位:円)	
	介護料収入	260,675,272	人件費	133,159,260				
	利用者等利用料収入	0	事業費	39,918,924				
	その他の事業収入	1,005,344	事務費	84,570,197				
	合計	261,680,616	合計	257,648,381				
			(収支差額)	4,032,235				
	②通所介護事業							
	(収入)				(支出)			
	介護料収入	48,180,861	人件費	31,126,853				
	利用者等利用料収入	0	事業費	6,659,545				
	その他の事業収入	255,371	事務費	3,244,504				
	合計	48,436,232	合計	41,030,902				
			(収支差額)	7,405,330				
	③居宅介護支援事業							
	(収入)				(支出)			
	介護料収入	6,194,850	人件費	7,170,219				
	利用者等利用料収入	0	事業費					
	その他の事業収入	0	事務費	116,655				
	合計	6,194,850	合計	7,286,874				
		(収支差額)	▲ 1,092,024					
(収入)				(支出)				
介護料収入	315,050,983	人件費	171,456,332					
利用者等利用料収入	0	事業費	46,578,469					
その他の事業収入	1,260,715	事務費	87,931,356					
合計	316,311,698	合計	305,966,157					
		(収支差額)	10,345,541					

サービス向上の取組	<p>平成26年6月から「恵楽園運営検討プロジェクト」を立ち上げ、利用者数の向上や権利擁護など、利用者の支援を第1に考えた施設の運営見直しを実施し、また、施設の機能等について、関係機関等へ説明、働きかけを実施し、ニーズへの迅速な対応、利用者数の増加に繋げている。</p> <p>サービス全般では、職員体制を利用者からの意見やニーズを話しやすい担当制とし、また、満足度調査、嗜好調査を実施し、サービスに反映するよう努める姿勢が認められる。</p>
-----------	--

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
		感染症への対策は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>一人を外出するために何らかの支援が必要な利用者に対しては、誕生月の外食活動、散歩活動、買い物ツアーを実施。また、代行、訪問販売(食品、衣類等)を活用する等の配慮を行い、外出する機会を増やし、また、ボランティアなどの社会資源も積極的に活用している。</p> <p>クラブ活動は心身の機能の低下を予防する手段の一つと位置づけ、利用者同士の交流の場としても機能させ、利用者自身の生活を豊かにするための支援にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>衛生管理について、日頃からの手洗い、うがい、入浴、洗濯などの予防に関する支援と同時に、感染した場合には「感染症対策マニュアル」に沿って適切に対応している。</p> <p>また、感染症及び食中毒の予防及び蔓延の対策として、適宜会議を重ね、感染拡大防止策として、使用物などの消毒を継続実施。職員の排せつ介助時にはエプロンを使用、また、消毒液の使用などの取扱い方法についての学習会を実施。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>これまでの利用者数が低い状況にある原因を分析し、利用率向上のための取組を検討し、施設の認知度向上を目的として入退所専任の職員を配置するとともに、行政等関係機関への施設の機能等の説明を重ね、利用率促進に繋げている。</p> <p>収入については、法人本部の経理部門が管理している専用の口座で区別して取扱い、適正に管理している。また、利用者の預り金については、取扱要綱を定め、金庫に各利用者別に袋に入れて、誤りが生じることのないよう、適正に管理している。</p> <p>また、法人本部の経理で簿記資格保持職員が会計処理を担当、外部の税理士事務所からのチェック体制を整備している。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>「恵楽園運営検討プロジェクト」を立ち上げ、在籍数の改善、虐待や権利擁護の研修や勉強会を行うなど適切な施設運営に向けた取組を行った結果、虐待ケースなどの入所があるなど、在籍者数も増加している。</p> <p>また、嗜好調査による給食メニューの改善、満足度調査を実施。</p> <p>苦情については、苦情解決責任者及び第三者委員への報告を行い、苦情解決、再発防止のための協議を行うなど、対応している。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	(評価の理由) 支援員を基準より3名増員配置、また、パートを雇用し、効率的な支援体制に努めている。 職員のスキルアップに関しては、外部研修にも積極的に参加を促し、その成果を内部の学習会等で発表してもらい、参加していない職員にも共有を図り、業務に活かしている。モチベーションアップに向けた取組として、法人で研究発表会を開催し、法人の各施設代表として日頃の業務について発表する機会を設けている。また、資格取得者には資格手当を支給するなどの工夫も行っている。 職員が利用者の腕を強く抑えてしまい内出血させてしまうという事故が発生したが、事後対応や、安全・安心に係る取組を適切に行っている。 ヒヤリ・ハット事故報告書を集計・分析したり、安全管理マニュアルを設置し、事故発生防止に取り組んでいる。				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	(評価の理由) 施設及び設備については、定期点検を行い、必要な修繕を行っている。また、警備員の施設見回り時には、設備の劣化状況も見るようにしている。 手すりやトイレなどはこまめに消毒を行い、感染予防に努めている。 外構について、園庭の剪定を年1回実施、ボランティアによる草刈りや市シルバー人材センターに依頼し中高木の剪定を行うなど、地域とも効果的に連携しながら適正に施設を管理している。				

4. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

これまでの施設の運営状況を評価、課題の洗い出し、課題解消のための取組として、今年度、「恵楽園運営検討プロジェクト」を立ち上げ、利用者数の向上や権利擁護など、利用者の支援を最優先に考えた施設の効果的な運営見直しを実施し、併せて、施設の機能等について、周知に努め、緊急ケースの積極的な受入れなど、ニーズへの迅速な対応、利用者の増加を達成している。
また、満足度調査、嗜好調査等を実施し、サービスに反映するよう努める姿勢が認められる。
今後の養護老人ホームのあり方についても、自主的に検討を重ねるなど、積極的な姿勢が評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし